

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 新井 智

〒379-2166

群馬県前橋市野中町361番地2

（群馬県労働福祉センター2F）

TEL 027-263-0555

FAX 027-261-0549

Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp

URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2014年11月号

No.232

働く仲間の結集で、安心・安定社会の実現!!



10月25日、伊勢崎市文化会館において、第19回定期大会を開催し第14期の活動がスタートをきりました。

第14期の活動にあたっては、組織人員の伸び悩み、財政構造問題、働く者の立場に立った連携できる議員の減少など、課題が山積しており、連合群馬・産別・地協が一体となり、目標の実現と課題解決に向け、「働く仲間の結集で、安心・安定社会の実現!!」を活動の基本目標に据え、すべての県民の不安を払拭すべき取り組みの実践を確認しました。

会長あいさつ

連合群馬の活動をそれぞれの職場で、地域で積極的に進めていただき、心から感謝を申し上げます。

最近、世の中のことを見てみると、豪雨により広島県を襲った土砂災害や御嶽山の噴火など、予期しないことでたくさんの仲間が命を落とす、或いは災害に見舞われるなど、心からお悔やみを申し上げます。

さて、私たちが平日生活をし、仕事をする中で、社会の状況に大きな視点で目を向けると、政府の経済対策によって確かに景気は回復基調と、一部では、そういう兆しがあると思いますが、職場で実際に汗して働く勤労者の視点で見ると、物価、消費税が上がる、数年来のテーマである年金を含めた社会保障問題など、依然として将来不安が残っています。

また、働き方を見れば、非正規の労働者が4割弱、年収200万以下のワーキングプアが2割強(24%)、加えて、国政では、労働者保護ルール改悪、政治資金の使い方など、私たちの生活実感とのギャップを感じ、安心、安全、安定という肌感覚にはほど遠いと思うわけであります。

従いまして、こういう時代だからこそ、私たち連合に集う仲間の結束力、或いは運動の役割は、高まっていると考えます。

その上で、「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」これをキーワードに、連合本部が唱える「働くことを軸とする安心社会」を目指して、構成組織、産別、地協、県連合がその役割と責任を明確にしながら活動を進めている所であります。

第14期にあたっては、4点に絞って大事な視点について心合わせを行いたいと思います。まず1点目は、組織の強化、拡大であります。

すべての活動の原点は、健全な労使関係の下に事業が発展していくことが大切であり、そのための組合作用に向けた支援の強化が必要だと思っています。その意味合いで、1000万連合に向けた組織作りです。

2点目は、地協の充実強化です。連合群馬の役割というのは、連合全体の社会的な運動のうねりの中で、全員で参画をしてその活動を押し上げていく、成果を出していく。地域の中でそれぞれの現場で起きていることをお互い知恵を出し合い、協力しあい、手を握り解決していくことだと思います。地協活動の強化は、連合群馬の活動の基盤であると改めて認識を共有したい。

3点目は、労働条件の底上げです。春闘では、デフレからの脱却と経済の好循環を実現させ、社会的な大きなうねりを強く意識して取り組んでいきたい。

最後、4点目は、政策制度改善と政策実現に向けた政治活動という視点です。仲間と共に実行性ある政策を作りあげ、引き続き改善に結び付けていきたいと思っています。合わせてそれを実現させるためには、当然、議会が関わってくるわけで政治活動の重要性を今まで以上に強くみんなで認識し合う、各地域、産別を代表するリーダーと共に、強力なリーダーシップのもと、連合推薦議員全員当選に向けて、力強く活動を進めていければと思います。



御来賓の方々 ～ごあいさつ抜粋～

群馬県知事 大澤 正明 様



結成以来25年にわたるご尽力に、心より敬意を表します。また、県民アンケートをもとにした貴重な提言を受け止め、県政に反映していきたいと考えております。

さて、本県は、円安による原材料や燃料費の高騰など、厳しい業種もある訳であります。緩やかな回復基調をたどっています。また、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録をはじめ東毛広域幹線道路の全開通、北陸新幹線の金沢への遠心と本県が大きく飛躍するための要件が整ってきている状況にあります。

一方で将来を見渡すと、若年女性の大都市への流出がもたらす人口減少が大きな課題となっており、群馬の未来創生本部を設置し群馬ならではの新しい発想のもとで、市町村などと連携しながらスピード感を持って、効果的な政策を出していきたいと考えています。

また、高齢人口の増加や新たな雇用の創出をはかり、経済の活性化と雇用の安定をしっかりと取り組むため、コンベンション施設の整備を進めてまいりたいとも考えており、今後とも県政に対しまして、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

厚生労働省群馬労働局 局長 内田 昭宏 様



我々労働行政の責務というのは、働く方々を守り、そして安心して働いていただけの職場づくりをしていく、その意味で働く方々の代表である労働組合、特に連合群馬は、最も重要なパートナーだと思っています。

今、群馬県下、労働を巡る課題は非常に山積しており、特に、労働災害が非常に多発、初めて死亡災害多発の緊急事態宣言を出し、色々と取り組みを進めているが中々これを撲滅することが出来ない状況にあります。

また、地方創生を進めるうえには、やはりそれを担う人材の確保、人材流出の防止というのは不可欠です。

群馬県ならではの、他の県との競争に負けないような工夫も必要になってきています。

このように労働をめぐる課題解決は、連合群馬の役割が非常に期待されており、今後とも課題解決の先頭に立って、様々な取り組みお願いいたします。

大変おつかれさまでした（退任役員の方々）



一社 群馬県経営者協会会長 児玉 三郎 様



日本経済ですが、アベノミクスは第3の矢、経済成長戦略の段階に入っていますが、今までの勢いはなく、踊り場にさしかかってきているのではないかと感じています。

特に、日本の本来の姿である、ものづくりと貿易立国の日本が、貿易赤字。また、1千兆円を超える国の借金と非常に問題であると考えています。なかなか難しい課題だが、“窮すれば変ず 変ずれば通ず” 困ったら、変化をしていかないと、組合活動も会社の営業活動も、だめになってしまう。

国は支援とサポート。労働者は協力と強調、経営者は指針と決断。指針を出さないと従業員が何をすべきか迷ってしまう。公労使が力を合わせて日本を立て直しましょう、と申し上げます。

第14期活動方針

2020年までに実現をめざす「働くことを軸とした安心社会」「1000万連合」「男女平等参画社会」「stop the格差社会」等を受け、7項目のテーマを据えて力から強く活動を展開！

<主な取り組み>

- ①1000万連合の取り組みを柱に集団的労使関係の構築をめざす『組織拡大・強化』
- ②地協再編と顔の見える運動の強化に向けた『地域に根差した活動』
- ③格差是正と働きやすい職場づくりに向けた『労働条件の底上げ』
- ④すべての県民が安心して暮らせる地域社会に向けた『政策・制度要求実現』
- ⑤政策・制度要求実現のための統一地方選勝利に向けた『政治活動』
- ⑥恒久平和・災害宅策など『支えあい、助け合う社会づくり』
- ⑦あらゆる分野における『女性や若者の連合運動への参画促進』

質疑・答弁

白石代議員：医療・介護従事者の厳しい労働

環境や人材不足の中「医療介護総合推進法」により、特定行為を行える看護師の養成など、新たな負担を求めている。

また、「医療勤務環境改善支援センター」の設置を進めているが、連合内に設置をとの声がある。連合群馬内に「医療福祉連絡会」を設置し、産別の垣根を越えた医療・介護の情報交換の場を設置してほしい。

超高齢化を迎える中で、医療・介護の人材確保は重要。「医療勤務環境改善センター」を連合が担うには、多くの課題が山積しており、本部を含め現状では難しい。しかし、運営にあたっては、労働者代表の参画など意見反映ができるよう取り組む。

医療・福祉連絡会は、他県の状況や情報を収集し検討します。



上段左から
鈴木誠副事務局長、山岸稔、八木田恭之、小川剛、羽鳥宏一、丹野隆行、高草木郁夫、渡辺聡、吉岡圭一、飯塚弘光、白石健志、深澤栄子執行委員、井田尚宏会計監査

働く者の声を議会に届けるため!!

来年の2月の渋川市議会議員選挙、4月には第18回統一地方選挙が行われます。

連合群馬に結集するすべての産別・地協は、働く者の声を地域の政治の場に届け、我々がめざす「すべての県民が安心して暮らせる地域社会」を実現させるために、推薦候補者全員の勝利に向け、今こそ仲間が一丸となり団結し全力で勝利しよう。

連合群馬《推薦》候補者-紹介-

第18回統一地方選挙



群馬県議会（前橋）
ほんごう たかあき
本郷 高明
日教組【新人】



群馬県議会（前橋）
おがわ あきら
小川 晶
前橋地協【現1】



群馬県議会（高崎）
ごとう かつみ
後藤 克己
自治労【現2】



群馬県議会（高崎）
かどくら くによし
角倉 邦良
高崎地協【現2】



群馬県議会（桐生）
いだ やすひこ
井田 泰彦
桐生地協【新人】



群馬県議会（伊勢崎）
かがや ふじこ
加賀谷富士子
伊勢崎地協【新人】



群馬県議会（太田）
くろさわ たかゆき
黒沢 孝行
自治労【現5】



群馬県議会（太田）
あべ ともよ
阿部 知世
太田地協【現2】



群馬県議会（渋川）
かねこ わたる
金子 渡
渋川地協【現1】

統一地方選挙日程（予定）

県議会議員

4月3日告示 12日投開票

市長・市議会議員

4月19日告示 26日投開票

町村長・町村議会

4月21日告示 26日投開票





高崎市議会
はやし つねよし
林 恒徳
自治労【現1】



高崎市議会
たかはし みなお
高橋美奈雄
J R総連【現4】



高崎市議会
なかじま てるお
中島 輝男
政労連【新人】



桐生市議会
しゅうとう まさひこ
周藤 雅彦
自治労【現3】



桐生市議会
こたき よしえ
小滝 芳江
桐生地協【現5】



太田市議会
いしくら みのる
石倉 稔
自動車総連【現2】



太田市議会
やぎ たやすゆき
八木田恭之
自治労【新人】



太田市議会
くぼ たかし
久保田 俊
電機連合【現2】



沼田市議会
たかやなぎ かつみ
高柳 勝巳
J P労組【現3】



安中市議会
おがわ つよし
小川 剛
化学総連【新人】



安中市議会
やなぎさわ ひろゆき
柳沢 浩之
J R総連【現1】



みどり市議会
いとう まさお
伊藤 正雄
情報労連【現3】

《支持》

渋川市議会議員選挙 - 2月1日告示 2月8日投開票 -



中之条町議会
せき つねあき
関 常明
吾妻地協【現1】



しのだ とくじゅ
篠田 徳寿
基幹労連【現3】



なぐも えいいち
南雲 鋭一
J E C連合【現6】



11月の執行委員会
までに確認された候補
者を掲載しています。

ディーセントワーク(人間らしい働き方)を求めて

ディーセントワーク世界行動デー群馬県集会



10月10日、高崎ハローフォーラムにおいて、ディーセントワーク世界行動デー群馬県集会を産別、地協、議員懇など235名が参加し開催しました。

集会では、人間らしい働き方の実現や現在、国会で論議されている「労働者保護ルールの改悪」を阻止するため、民主党県連や議員懇からリレーアピールを行い、



応援に駆け付けた議員懇メンバー(左から角倉・小川・後藤県議、三森(前橋)・高柳(沼田)・篠田(渋川)市議、都丸(大泉)町議)

北方領土返還の早期実現を求め署名を提出

10月1日、群馬県庁において、今年1年間組合員の皆さまと共に取り組んだ「北方四島の返還を一日も早く実現するための署名」(44,570名分)を、北方領土返還要求群馬県推進連絡協議会(県民会議)に提出するため、窓口となっている群馬県企画部国際戦略課に提出しました。

吉田副会長から、「領土問題が簡単ではないのは理解しているが、国民運動として継続することが重要である」と述べ、群馬県に対して協力を呼びかけました。

連合は平和と友好を希求する労働組合の立場から、北方領土返還運動に、構成組織・地方連合会と力を合わせて取り組んでおり、「平和行動 in 根室」を開催しています。



佐藤課長(左)に署名を手渡す吉田副会長

我々の主張を訴えかけ意思統一を行いました。

我々、働く仲間の声を議会の中で展開している議員懇の仲間の駆け付け力強いエールと決意が表明されました。

最後に、櫻井副会長から「すべての働く人が、公正で公平な権利が保障され、安心して暮らせる社会の実現に向け、一致団結し、ともに前進しよう」とのアピールを採択し、高崎の繁華街に向け、アピールウォークを行い、道行く多くの勤労者や生活者に向け広く訴えかけました。

また、集会に先駆け、高崎駅にて勤労者や学生に向け、チラシ入れのティッシュを配布しディーセントワーク世界行動デーの周知活動を行いました。



高崎駅周辺を力強く
アピールウォーク



青年・女性委員会 全国一斉署名活動に参加

10月4日、難病団体連絡協議会が全国一斉に取り組む「国会請願署名活動」がイオンモール高崎で実施され、青年・女性委員会から8名が参加しました。

難病認定を受けられない患者が多い状況を訴えながら、訪れた家族などに難病対策の確立に向けた署名への協力を求め、612筆を集約しました。



前橋嶺公園で森林整備活動を実施

10月4日、前橋嶺公園で森林整備作業を行い、産別・地協から43名が参加しました。

今回の作業は、3年契約の最後の作業であり、のべ252名の参加協力により、取り組んできました。

1時間半の作業で、夏の間に茂った下草や篠を刈り、風で折れた枝や投げ捨てられた空き缶・ペットボトル等のゴミを拾い、草の茂った雑草地だった場所も森林浴のできる公園の森に戻りました。

参加者からは、「定期的に手を入れる大切さを実感した」との声があり、県や公園管理事務所からも「定期的



こんなにきれいになりました。

すべての県民が安心して暮らせる地域社会に向け

安中地協がスタートを切って安中市へ提出

連合群馬がめざすべき姿「すべての県民が安心して暮らせる地域社会」の実現に向け、県への政策・制度要求と提言提出に続き、各地協における市町村への提出に向けた準備を行っています。



提言書を提出する柳澤議長（左）

12地協の先頭を切って、安中地協は、10月29日に安中市に対する8分野14項目にわたる「政策・制度要求と提言」を茂木市長に提出しました。

提出は、地協4役及び議員懇談会メンバーの土屋市議・柳沢市議に県連合の政策担当が出席しました。

茂木市長からは、「県民意識調査に基づく貴重な意見をいただき、ありがたい。真摯に受け止め検討を行いたい。引き続き、市政に対するご協力をお願いします」とのコメントがありました。



的に整備していただき大変ありがたい」と感謝されています。

嶺公園での森林整備作業は、県との3年間の契約期間が終了することや一定の整備ができたことから、今回で終了し、今後は前橋地協が活動を引き続き整備していきます。

県内には、まだまだ整備が必要な森林がありますので、関係各所と調整し、来年から新しい場所で森林整備活動を行いますので、皆さんのご協力をお願いします。

群馬コンベンションを考える

議員懇西毛ブロック主催

10月6日、高崎競馬場跡地利用として、県が計画している「群馬コンベンションホール」建設に関する学習会を議員懇西毛ブロックの主催で開



県の説明に耳を傾ける議員懇メンバー
催され、25名が参加しました。

参加者は、JR高崎駅東口から徒歩で移動し、県が主張している好立地を検証するとともに、高崎労使会館において、県のコンベンション推進課の説明を受けた後、意見交換を行いました。



競馬場跡地の視察

意見交換では、施設運営費に関する見通し、県民負担におけるリスク、展示会やコンベンション誘致の見通しなど、有意義な意見交換となりました。

お知らせ

青年委員会 第14回総会

日 程：11月22日（土）9：30～11：40

場 所：前橋市総合福祉会館 第3会議室

対象者：各産別2名以上（概ね35歳以下の男女）

内 容：活動経過報告、2015年度活動方針、役員体制
総会終了後、県議との座談会

女性委員会 第14回総会

日 程：11月22日（土）9：30～11：40

場 所：前橋市総合福祉会館 第1会議室

対象者：各産別2名以上

内 容：活動経過報告、2015年度活動方針、役員体制
総会終了後、統一選女性候補予定者との意見交換

議員懇談会 第25回定期総会

日 程：12月6日（土）15：00～17：30

場 所：高崎ビューホテル

対象者：各産別・地協2名程度

内 容：第1部 定期総会

第2部 講演会

世界遺産登録への道と

地方行政の取り組み

講 師：岡野 光利（前富岡市長）

新春労使共同セミナー

日 程：2015年1月20日（火）15：30～

場 所：前橋テルサ